

サロン通信

第8号



R2.5.28 発行
発行元
三条市社会福祉協議会
地域福祉係
電話:0256(33)8511
FAX:0256(33)3004

新型コロナウイルス

感染症対策について

「新型コロナウイルス」という名前を耳にしてから、約5か月が経過しようとしています。

緊急事態宣言の解除に合わせて、政府は新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針を改定し、「新しい生活様式」(生活する際に実践することが求められる行動規範)を実践し、感染拡大の防止に努めてほしいと言っています。

「新しい生活様式」の具体的な実践例としては、
・こまめに換気を行う
(少なくとも、2時間に1回程度)



・入口で手指消毒をする。

・人との間隔は、できるだけ2メートル空ける。(最低1メートル)空けられない場合は、マスクを着用する。



・帰宅後は、手や顔を洗い、できるだけ早く着替え、シャワーを浴びること。などです。



また、三条市は、日々の生活や社会経済活動について、「直近2週間程度のお互いの行動を把握し合っている

人同士であれば、以前と同様の形で再開してください。」と言っています。

感染を拡大させないためにも、お互いに協力しながら生活を続けることが大切です。

サロン活動の再開

4、5月と活動を休止されたサロンも多かったですし、6月以降も活動を再開していいか迷われるところもあるのではないのでしょうか。

今すぐ、新型コロナウイルスの影響を受ける前と同じ状態に戻るのは難しいですが、今後は、「新しい生活様式」を実践し、「三つの密」(密集、密接、密閉)を回避することで、活動を再開することが可能になってくると思います。



活動内容を工夫する

いつも通りの活動はできないけど、こんな時だからこそ、別の活動に取り組んでみるのもいいかもしれません。

例えば、みんなでマスクを作って、地域の方に配るとか、天気が良かったら、みんなで近くを散歩するなど、工夫次第ではいつもの活動よりも楽しいものになるかもしれませんね。

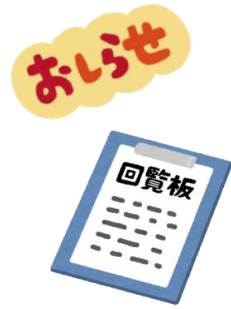
また、集会所の湯呑などを使われているサロンは、これを機会に、マイカップを持参してもらおうというのはいかがでしょう。



お誘いのチラシ

しばらく休んだ活動を再開するにあたり、「地域の方をお誘いするチラシがあったらいいのになあ。」と思っているサロンはありませんか？

そんなときは、ぜひ当会にご連絡ください。チラシ作成をお手伝いいたします。見本をつくりましたので、ご覧ください。



運動不足解消に

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、どうしても家にこもって運動不足になりがちです。自宅でも、ひとりでも、気軽にできる簡単な体操をご紹介します。

「参加者の皆さんにもチラシを配りたい。」と思われるなら、印刷をいたしますので、ご連絡をください。



休止分の助成金の取扱い

「休止した分の助成金は、どうしたらいいですか?」と

の問い合わせをいただいています。

新型コロナウイルス感染症対策のために、消毒用のアルコールやウエットティッシュ、紙コップなどを購入する必要が出てくるかと思いため、休止分の助成金は、そういったものの購入費に回してください。



地域のつながりづくり

促進事業のご案内

人と人がつながり、地域のたすけあいのきっかけとなるような取り組みをする際の活動費を助成します。

募集期間は5月29日(金)となっておりますが、その後も予算の範囲内で引き続き受付いたします。詳しくは、お問い合わせください。



事務連絡

今現在、消毒用のアルコールが入手困難となっていると思います。

若干ですが、消毒用のアルコールを手でまわしので、希望されるサロンに配布いたします。(約250ml)

お渡しには小分けの容器が必要ですので、お持ちください。できれば、アルコール対応の容器が好ましいですが、なければガラス容器でも構いません。ペットボトルは、容器が溶ける恐れがあるためお分けできません。

配布場所

・三条市総合福祉センター

(☎ 33-8511)

・デイサービスセンター 桃寿苑

(☎ 46-5506)

配布時間

・月曜日～金曜日(祝日は除く)
・午前8時30分～午後5時15分

また、6月20日以降には、アルコールジェル1本(500ml)を配布できます。希望される

サロンは、取りにおいでください。

こちらの配布は、上記の場所のほかに、三条市役所栄庁舎内栄窓口でも配布いたします。ただし、栄窓口での配布時間は、午前8時30分から正午までとさせていただきます。※お渡しをスムーズに行うためにも、おいでになる前にご連絡をいただくと、助かります。



編集後記

このままだと、夏もマスクと一緒に過ごさなければならぬのでしようか。

マスクは、熱がこもりやすく、口の渴きを感じにくくなるため、熱中症に気づくのが遅くなり、熱中症になるリスクが高まると考えられています。そして、気象庁によると、今年の夏は平年並みか平年よりも高めだとか。

いつも以上に、熱中症に気を付ける必要があります。(w)

